

令和5年度坂東地域4Hクラブ活動発表会を開催

令和6年1月19日（金）に坂東市役所にて、坂東地域4Hクラブ連絡会議及び坂東地域農業改良普及センターの共催で、「令和5年度坂東地域4Hクラブ活動発表会」を開催しました。普及センター管内の4つの4Hクラブ員の他、助言者の農業三士、関係機関等あわせて49名が参加しました。

発表会では各4Hクラブの活動内容として、栽培作物の品質向上や販売方法の検討、地域のイベントへの協力等の幅広い活動内容を発表し、それぞれに対して農業三士から助言を受けました。なお、いばら4Hクラブの活動発表「マルチの有無が干しいもの品質に与える影響」は、2月8日（木）に県庁で開催される「令和5年度茨城県農業青年プロジェクト実績発表会」に坂東地域の代表として発表します。

発表会に続き、独立行政法人農畜産業振興機構の伊澤昌栄氏を講師に迎え、「今般の野菜需要動向について（業務加工用を中心として）」と題して講演が行われました。伊澤氏からは、近年の野菜の需要動向の変化や、加工業務用として国産野菜が求められる具体的な事例等についてわかりやすくお話していただきました。

出席した方からは、活動発表会に対しては、「クラブごとに特色ある取組を行っていて面白かった」、「自分の4Hクラブでの今後の活動の参考になった」、講演会に対しては、「国内外の野菜の動向を詳しく知ることができた」「消費者の需要の変化を数字として理解できた」「買い手を考えた農業の必要性を改めて意識した」といった感想がそれぞれ聞かれました。

普及センターでは、今後も4Hクラブ員等の若手農業者が取り組むクラブ活動の支援とともに、栽培技術や経営改善、販売対策の参考となる情報提供を行い、地域を担う農業者の育成を図っていきます。

令和6年1月23日 坂東地域農業改良普及センター 畑木（担い手）

